

前橋市議会議員

絆

主役は市民!

# 細野勝昭 活動報告



2019年(令和1年)秋号/発行:ほその会 前橋市文京町1-45-3

## 平成30年度 一般会計決算を認定

(一般会計決算額)	歳入総額	1,378億8,586万円
	歳出総額	1,346億8,385万円
	実質単年度収支額	△20億6,000万円
(財政指標)	実質公債費比率	8.2% (対前年度△0.2ポイント)
	経常収支比率	98.0% (対前年度+0.7ポイント)

平成30年度は、新しい価値の創造都市・前橋を将来都市像とする10年間の第7次前橋市総合計画のスタートの年であり、第7次総合計画においては「地域経営」をまちづくりのキーワードとして、市民一人ひとりが個性と能力を生かし、個々に光り輝くことにより、新しい前橋らしさを創造することを目的とし、6つのまちづくりの柱に基づく、各種事業に取り組むこととした。また平成28年に策定した「県都まえばし創生プラン」

に位置付けた地方創生の取り組みなど、限られた財源の中で、本市の将来を見据え着実に事業を進められたこと概ね「了」とした。

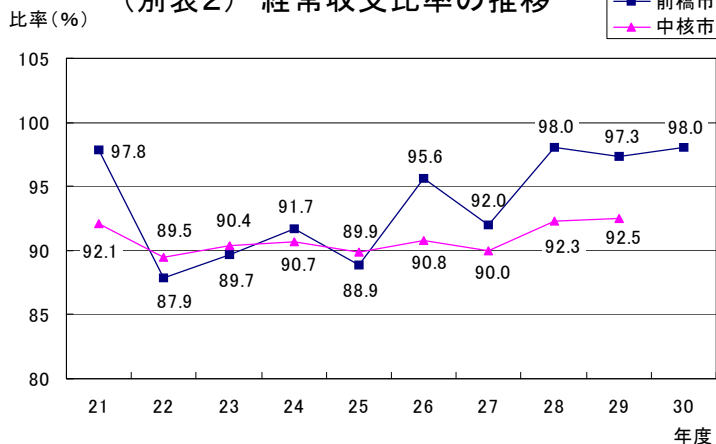
財源問題では、市債の発行については、将来の財政負担への影響を考慮し、財源についても過大な負担を生じさせないよう慎重かつ計画的な運用に努めることと併せて、(別表1)一般会計では実質収支額が25億2892万円の赤字となっているものの、その実態は財政調整基金約21億円をはじめとして、減債基金・公共施設整備基金等の基金を合わせて約34億9600万円の基金取り崩しになっており、実質単年度収支は、約20億6000万円の赤字となり悪化していることを踏まえ、各種事業の費用対効果の検証や、一層の自主財源の確保に努めることが強く求められる。(別表2)

(別表1) 市債・公債残高

区分	市	国
	市民1人当り市債残高	国民1人当り公債残高
平成27年度	27	634
平成28年度	27	655
平成29年度	27	682
平成30年度	27	891

(臨時債除く) 単位:万円

(別表2) 経常収支比率の推移



本市を取り巻く環境は、本格的な少子高齢・人口減少社会を迎え、本市においても厳しい財政状況が将来にわたって継続することが見込まれているが、今後においてはマスタープランである第7次総合計画を掲げて、6つの「まちづくりの柱」を基本として、引き続き中長期的な視点で財政運営を据えながら、社会情勢の変化や多様化する市民ニーズに対応するとともに、当年度に策定した行財政計画に位置付けた各種施策の着実な実施と重要指標の改善、サマリーレビュー結果に基づいた取り組みの検証による事業の不断の見直しなどを、持続可能で安定的かつ効果的な行財政運営の実現を要望する。

(審査意見)

(課題と対応)

第7次総合計画の政策方針である将来都市像は「新しい価値の創造都市前橋」であり、6つのまちづくりの柱の中でも産業振興による企業誘致の推進と新たな雇用創出による定住人口の確保は最重要課題であります。



総括質問をする細野議員

また、シティプロモーションの主導の活気あるまちづくりの推進について、CCR事業、駅北口再開発事業、中心市街地の再開発、道の駅・アーバンデザイン事業など、事業推進は官と民との役割分担の明確化と資金確保策が事業執行の大きなポイントと考えます。

沢山の政策課題を抱えておりますが、行政と議会が有機的な連携を図り、さらに市民力・地域力の向上が図られるような施策展開により、活力ある県都前橋の実現は可能であると確信しております。

「主役は市民でなければならぬ」との信念のもと「是々非々」で望みます。

第3回(9月)定例会  
総括質問 (抜粋)

\*財政問題について

・厳しい財政状況の中で税収を確保する方法として、平成26年から今日まで、現在市内に点在する40余りの市有施設名を「前橋ネーミングライツ導入施設」として売却、年間で3170万円の税収を確保、県内他市では見受けることは少ないと認識しているが、制度を導入することになった背景について伺います。

・前橋市民文化会館、前橋公園、前橋市民体育館など、いずれも本市を代表するブランドの施設である。今後、どのような考え方で臨むのか、市民感情をどのようにに捉え、納得いただけるような説明が必要と考えるが見解を伺います。

- 昌賢学園まえばしホール (前橋市民文化会館)
- rakuhodou 前橋公園 (前橋公園)
- ヤマト市民体育館前橋 (前橋市民体育館)

\*「太陽の鐘」設置と

まちづくりの効果について

・前橋再生を「太陽の鐘」に託す、設置場所も市民が志を持ち、行

動しようとする人のよりどころとなつて欲しい。市外在住者から見ても魅力的な景観で、市民生活に溶け込んでいる場所とのことから設置場所が広瀬川河畔に決まった。そこで「にぎわい」の創出という当初の効果・目標など、どのような評価をされているのか伺います。

\*駅北口地区再開発事業

について

・県都まえばしの玄関口である駅北口に27階建ての「ノッポビル」が建設されるが、再開発の景観形成・広場の計画などのコラボレーションなど具体的な考え方があるのか、県都まえばしの玄関口でもあり本市のイメージアップにもつながるものと考えますが見解を伺います。

\*企業誘致に関して今後、産業

経済部に対する要望について

・企業誘致の際のセールスポイントとして、前橋工科大学の「バイオ・生命工学科」と群馬大学医学部・多くの病院などの医療施設群に加え、県の産業技術センターなど、他市にないセールスポイントがあります。ものづくり企業のみならず、医療関係の研究機関などの誘致などに結び付けていただくよう要望しておきます。

第3回(9月)定例会  
建設・水道常任委員会 質問  
(抜粋)

\*道路反射鏡設置工事について

・反射鏡の素材が、ガラス材の鏡から金属製の材質に変わり、障害物などとの接触により金属面の凹凸や歪みができ、視認性の問題(歪んで見える)が指摘されているが、この点についてどのような見解か、又、反射鏡の「取り付け高さ」はどのような基準となっているのか伺います。

\*通学・生活道路の安全確保

について

・通学・生活道路上などの白線の不鮮明箇所が多く見受けられるが対応は非常に遅れていると認識している。そこで、修繕・補修工事などは、地域住民からの指摘によるものなのか、あるいは所管課のパトロール等により指摘補修されたものなのか伺います。(要望)

\*水道事業会計について

・最大の経営圧迫要因である県央第2水道の単価の交渉経過について、おりしも新しい知事に代わりましたことから、今後どのような交渉をされていくのか伺います。



令和6年を目標に江田天川大島線の事業



委員会質問をする細野議員

\*江田天川大島線工事の

進捗状況について

・全線の事業完了時期は、令和6年と伺いました。Ⅲ期工区の用地取得率は26%と伺いましたが、新橋の設置及び墓地移転の進め方について伺います。

市政に関するご意見・ご要望がありましたらご連絡ください



自宅事務所  
〒371-0801  
前橋市文京町1-45-3  
TEL: 027-221-2208  
FAX: 027-221-2279  
携 帯: 090-3314-6881

議会事務局 〒371-0026  
前橋市大手町2-12-1  
TEL: 027-224-1111  
所属 会派: 市民フォーラム  
所属委員会: 建設水道常任委員会・委員